

新しいしめ縄で

「元気なうちに新しいしめ縄を」と東遠浅自治会の女性8名が集まり、11月7日と8日の2日間に渡って黙々としめ縄を編み、2本の立派なしめ縄を完成させました。

現在、東遠浅神社にかけられているのは13年もの間、雨や雪、風に耐えしのぎ神域を守ってきたそうです。

力強く編みこまれた新しいしめ縄は、東遠浅神社で清められた後、鳥居と境内に架けられます。



スピードダウンと早めのライト点灯を

冬の交通安全運動期間（11月16～25日）の初日、全道一斉にセーフティコールを始め、通勤通学時の啓発活動などを実施しました。

16日早来駅前には町内の事業所や自治会の方々30名程が集まり、行きかう車輛に交通安全を呼びかけました。



交通安全の願いを込めて しめ縄作り

24日と25日の両日、追分老人クラブの方々は毎年行っている交通安全祈願のしめ縄作りを実施しました。

平成2年から始まり22回に渡って作ってきたしめ縄は、今年は250個を作成。

12月9日弥生パークキングで行う交通安全啓発等でドライバーに配布し交通安全を呼びかける予定です。



冬期間の除雪に

11月29日除雪トラックが配備されました。

この車輛は、平成3年から追分地区で使用されていた薄緑色の除雪ダンプトラックを更新する形で7月に発注をしていたものです。

今までの車輛は、負荷の大きな除雪作業などで、ここ数年は年間百万円以上の修理経費を要するほど車体の老朽化や出力の低下が顕著で、年次計画による更新となりましたが、作業の効率アップや環境にもやさしい車輛の導入となりました。



安平町の交通安全活動に

北央信用組合では、平成17年8月に職員が交通事故死亡したことをきっかけに、同組合の役員に呼びかけ「交通安全募金」を行い、毎年交通安全運動に熱心に取組む自治体などに善意を寄せています。

11月25日同組合足立真理事長らが追分庁舎を訪れ、「安平町の交通安全運動に役立てて欲しい」と役員から募った善意と、同組合からの寄付金の目録が町長に手渡されました。町長は寄せられた善意に感謝するとともに、町民の交通安全に有効活用させていただきますとお礼を述べました。

